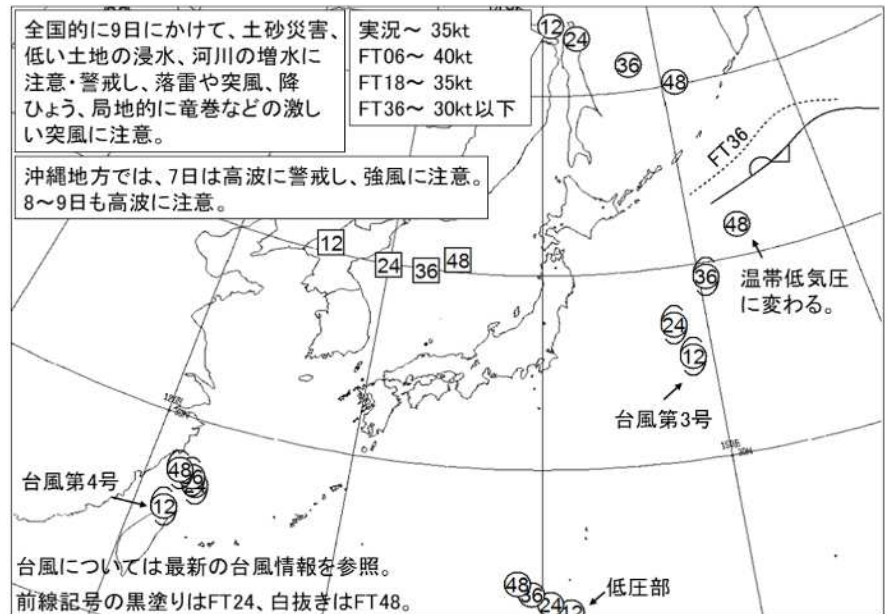


1. 実況上の着目点

- ① 強い台風第4号が台湾海峡付近を北北東進。華中付近を上層寒冷低気圧（UCL）が北北西進。台風周辺の下層暖湿気の影響で、先島諸島付近では、積乱雲が発達、激しい雨や非常に激しい雨を解析し、雷を多数検知。また、非常に強い風が吹き、海上はうねりを伴いしけとなっている。
- ② 台風第3号が日本の東を北北東進。
- ③ 西日本は500hPa 5880m以上の高度場に覆われているが、北～東日本は気圧の谷となっている。気圧の谷に向かう下層暖湿気の影響で、東日本ではやや強い雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風第4号は、7日は台湾海峡から東シナ海に進み、8日は東シナ海で進路を西寄りに変え、9日は華南に進んで熱帯低気圧に変わる。台風の接近に伴い、沖縄地方では7日は、非常に強い風が吹き、海上はうねりを伴い大しけとなる所がある。7日は高波に警戒し、強風に注意。8～9日も高波に注意。また、台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の台風第3号は、8日にかけて日本の東を北上し、8日夜までに温帯低気圧に変わる。
- ③ 1項③の500hPa 5880m以上の高度場は、9日にかけて朝鮮半島～日本海付近に停滞。地上では、中国東北付近の高気圧が7日夜にかけて日本海に移動し、8日にかけて停滞、9日は、サハリン付近の高気圧に取り込まれて次第に不明瞭になる。また、8～9日は、日本のはるか東の高気圧が日本の東に張り出す。北～西日本は9日にかけて、これらの高気圧に緩やかに覆われて晴れて気温が上昇し、広く真夏日となり猛暑日となる所がある。熱中症など健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、日中の昇温や高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：関東甲信・東海100mm。② 波浪(明日まで)：沖縄6m。③ 高潮(明日まで)：西日本では警報基準を超過する所があり、東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第4号に関する全般気象情報（総合情報）」を5時頃に発表予定。